

事業所名 **もくれんジェニー2 (too)** 支援プログラム (参考様式) 作成日 **2025 年 3 月 18 日**

法人 (事業所) 理念		輝け人間の尊厳 示そう人の世に熱と光					
支援方針		<p>子どもから大人に移り変わる多感な時期に、安心して過ごしていける空間を作り、今後の人生の礎を築く支援を行っていきます</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>様々な体験や経験を通して、可能性や将来の選択肢をひろげ、社会参加の実現をはかります。</li> <li>一人一人の障がいを個性ととらえ、個人のニーズやライフステージに応じた支援の充実をはかります。</li> <li>児童個人を尊重しながら、学校、家庭、各関係機関との連携・協働を密にすることで、安心して活動できるような場の提供を目指します。</li> <li>発後の生活を意識しながら、子どもたちが自らできることを友 (共) に発見し、友 (共) に先につなげていく支援を提供します。</li> </ol>					
営業時間		9 時	30 分	18 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所してからの健康状態のチェックを行います。自身での意思表示が難しいお子様については障害特性や発達の過程、小さなサインから心身の異変に気付けるよう、観察を行います。そのことにより、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。</li> <li>日々の活動にメリハリをつけ、子どもたち自らが次の行動への切り替えをスムーズに行えるよう支援をします。</li> <li>また、手作りおやつやクッキング等のプログラムを生かした「食育」にも力を入れます。</li> <li>不登校の状態にあるお子様については、生活リズムを整えることができるよう支援します。</li> <li>簡単な家事が自らできるように「掃除、洗濯、調理」のプログラムを行います。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内や室外で、身体を動かすことで運動能力を高めます。</li> <li>保有する感覚を十分に活用できるよう、ゲームやクイズ等の活動を通して支援します。</li> <li>例) 創作的活動やアナログゲーム、ガーデニング等</li> <li>必要に応じて個別対応を図り、感覚過敏や感覚鈍麻など、感覚の偏りに対する環境調整などの支援を行います。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>おやつやクッキングでの提供によって、こだわりや偏食に対する支援を行います。</li> <li>認知の特性を踏まえ、絵カードやスケジュール表等を用いて入ってくる情報を適切に処理し、自ら選択して安全に正しく行動できるよう支援し、認知の偏りなど一人一人の特性に配慮します。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>SST (社会生活技能訓練) を実施し、生活の中で起こる事柄に対するロールプレイングを行います。</li> <li>考えを発表したり、好きなことをプレゼンテーションするなどのコミュニケーションを意識するプログラムを実施します。</li> <li>100キッチンや外出活動を通して、いつもの友達だけでなく対外的なコミュニケーションを図れるよう支援します。</li> <li>自己表現、表出が難しいお子様には、職員 (大人) が間に入ることで、表現方法を学んでいただきます。</li> <li>ボードゲームやアナログゲームを活用して、他者とのコミュニケーションの練習をします。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階や成長段階に応じたかかわりを実施します。</li> <li>幅広い年代の子供たちが集団で活動することで、相手を思いやる心や自分の思いを伝える力などを身につけることができるよう支援します。</li> <li>将来の自分に目を向けることができるよう、遊びの体験だけではなく、自己実現の体験ができるようなプログラム活動を提供します。</li> <li>例) 職業体験、職場体験、個別進路相談、こどもマルシェの運営等</li> <li>社会や自然とのつながりを感じられるよう、外出活動や季節行事への参加を行います。</li> </ul>					
家族支援	保護者面談を年3回実施。保護者会の実施。親子遠足の実施。家庭連携加算を取得し、ペアレントトレーニングや家族 (兄弟児も含む) に対する支援を実施する。連絡アプリでの連絡帳共有	移行支援				高校2、3年生の児童については、障害福祉サービス事業所の体験を法人内外と連携し実施する。その他、医療機関や学校等との調整を行う。	
地域支援・地域連携	各種イベント (こども食堂、マルシェ、放課後児童クラブや学童保育との合同イベント等) の実施や参加。子育て支援施設との連携や、学校やフリースクール等公共機関の利用を行う。	職員の質の向上				月に一度の会議と研修の実施。外部研修への参加、自立支援協議会と障害児施設部会への参画を行う。	
主な行事等	春…一泊旅行 (3月)・お花見 (4月)・親子遠足 (5月) 夏…プール (7・8月)・緑日 (8月) 秋…ハロウィン (10月)・ふれあい祭り (10月) 冬…クリスマス会 (12月)、もちつき (1月) 年に二回のこどもマルシェ、学童保育との合同活動、お仕事体験会などを実施 毎年年間計画を作成し、提示をしている。						